

環境寄与度世界ランキングで新日鉄が10位

新日鉄は、米国の環境保護団体、投資関係団体からなる連合組織「Ceres」(シリーズ: Coalition for Environmentally Responsible Economies) が公表した環境寄与度世界ランキングで、日本企業中最上位の10位にランキングされた。

Ceresは、温暖化ガスと関連が深いエネルギー、産業、運輸の3部門で米国に主要拠点をもち、かつグローバルに事業を展開している主要企業100社を対象に、環境への取り組み内容・実績等を5つのカテゴリー(取締役会による監督、マネジメントの遂行、情報公

開、排出削減、戦略的な取り組み)から総合的に評価、ランキング付けを行い、初めて公表した。

当社は、中長期での戦略的な取り組み、二酸化炭素の削減実績等で高い評価を受けた。

今後も、世界最高水準のエネルギー効率を追求するとともに、グ

ローバルな観点から地球温暖化対策を推進していく。

お問い合わせ先
環境部
TEL 03-3275-5145

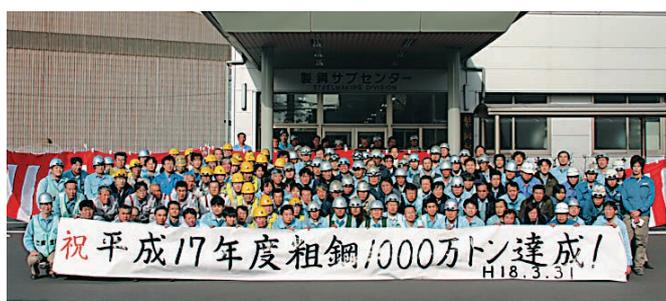
君津製鉄所、2005年度粗鋼生産量1,000万トン超を達成

君津製鉄所は2005年度粗鋼生産量で1,000万トンを超えた。これは同製鉄所が操業を開始してから40年、銑鋼一貫体制を確立して以来37年での達成となる。

君津はスループット拡大、ミドル・ハイグレードへのシフトを指向した生産構造の変化に対応して、第4高炉拡大改修、第2製鋼工場脱りん処理炉稼働等々、体質強

化を順次進めてきた。2004年からは「KIMITSU1000」のスローガンのもと、全所を挙げての活動を展開し、それがこのたびようやく結実した。

今後は粗鋼年産1,000万トンを安定的に生産できる磐石な業務運営体制の確立に向けて全所を挙げて取り組んでいく。



当社株式の大量買付けに関する適正ルールの導入と新株予約権の発行登録について

新日鉄は、2006年3月29日開催の取締役会において、「株式の大量買付けに関する適正ルール(買収防衛策)」(以下「適正ルール」)の導入を決定し、併せて適正ルールに基づく新株予約権に係る発行登録を行った。

適正ルールは、当社取締役会が

代替案を含め買収提案を検討するために必要な情報と相当な期間を確保することにより、株主が買収提案に関し、インフォームド・ジャッジメントを行えるようにすること、加えて当社の企業価値および株主共同の利益を損なうこととなる悪質な株券等の大量買付けを

阻止することを目的としている。

なお、適正ルールは、関係諸法令、裁判例、株式会社東京証券取引所の定める買収防衛策の導入に係る規則等並びに経済産業省、法務省の定めた「企業価値・株主共同の利益の確保又は向上のための買収防衛策に関する指針」等に則っている。

適正ルール詳細は当社ホームページ (<http://www.nssc.co.jp/>) に掲載。

お問い合わせ先
総務部総務グループ
TEL 03-3275-5178

新日鉄・住友金属工業(株)・(株)神戸製鋼所間の連携施策の推進状況と三社覚書締結について

新日鉄、住友金属工業(株)、(株)神戸製鋼所の3社はこれまで連携施策を着実に推進し、昨年3月末の

3社連携深化の公表以降は、資本市場の変化に対し必要となる対策についても、各社個別の取り組み

に加え、共同で研究・検討してきた。今回は引き続き連携を深化・推進し、その成果を享受するため、

買収提案に対する対応を3社共同で検討する覚書を締結した。

新日鉄、東洋鋼鈹(株)と提携

新日鉄と東洋鋼鈹(株)は、容器用素材の競争力強化のため、連携施策を実施していくことに合意した。

今後、両社メンバーからなる「連携推進委員会(仮称)」を設置し、具体策の検討を進める。

現時点で合意している提携内容は以下のとおり。今後の協議の中で、適宜追加予定。

(1) 製品物流・原料調達面でのコストダウン推進のための相互協力

(2) 相互の生産設備の有効活用(各製品の製造受委託)による生産・物流コストの削減

(3) スチール缶用素材の共同技術開発

(4) 海外展開における相互協力

以上の各分野における提携施策の検討・実施により、各々の競争力を強化するための協力関係を構築していく。

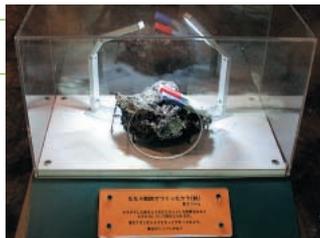
科学技術館で、たたら製鉄体験実習のケラを展示

科学技術館(運営母体:(財)日本科学技術振興財団)の鉄鋼展示室で、昨年11月に当社グループが協力して行った「たたら製鉄の体験実習」の際にでき上がったケラ

が展示されている。鉄鋼展示室は、今年12月に改装予定。「ワークショップ」を中心に位置付け、「鉄」に関する実験・体験を通じて、子どもたちや参加者に、「ものづくり」

に対する興味を持ってもらうことを目指している。

お問い合わせ先 科学技術館
東京都千代田区北の丸公園2-1
URL: <http://www.jsf.or.jp>



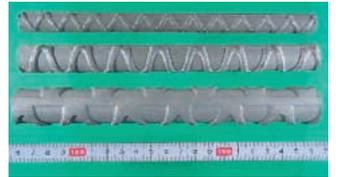
新日鉄住金ステンレス(株)のクロム系異形鉄筋が業界初の国交大臣認定取得

新日鉄住金ステンレス(株)では、クロム系ステンレス異形鉄筋(NSSD410-295)の国土交通大臣認定をステンレス業界で初めて取得した。普通鉄筋と同様にステンレス鉄筋を使用することができるため、その優れた耐食性を活か

して建築構造物の耐久性向上、超寿命化に貢献する。ニッケルを多く含有する一般的なステンレス鋼に比べ、コストパフォーマンスも高い。また、ステンレス鉄筋に合った設計施工法を組み合わせることに

より、適用メリットはさらに膨らむものと期待されている。

お問い合わせ先
新日鉄住金ステンレス(株)
商品技術部
TEL 03-3276-4890



クロム系ステンレス異形鉄筋(NSSD410-295)

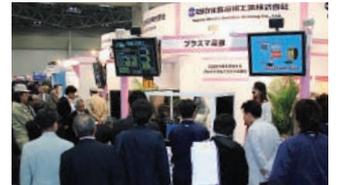
2006国際ウエルディングショーに新日鉄を含む3社で共同出展

新日鉄は日鉄住金溶接工業(株)、日鉄溶接工業(株)と共同で、4月12日から15日まで東京・有明のビッグサイトを会場に開催された『2006国際ウエルディングショー』に出展した。

“お客様とともに、新たな次元へ”をテーマに、新日鉄グループが総合力を発揮して「鋼材・溶接材料・機器のトータルコーディネーター」として役割を果たしていることを、実演と展示を通してア

ピールし、多くの来場者の注目を集めた。

お問い合わせ先
日鉄住金溶接工業(株) 営業総括部
TEL 03-3665-4690



「ニッツスーパーフレーム工法」のホームページをリフレッシュ

新日鉄薄板営業部住宅建材開発グループでは、「ニッツスーパーフレーム工法(NSF工法)」のホームページをリフレッシュした。

NSF工法は、垂鉛めっき鋼板を用いたいわゆるスチールハウス工法。高性能でコストパフォーマンスに優れた低層建築最新工法だ。RC造や従来鉄骨造と比べ、低コスト・短工期・高性能な新しい鋼構

造で、構造・耐火・断熱・遮熱性能を日々追求している。

軽量で溶接や塗装が不要で扱いやすいため、戸建・共同住宅はもとより、寮・老人福祉施設・店舗等にNSF工法の採用が拡大している。こうした用途拡大や性能の向上に伴い、ホームページの内容を大幅にリフレッシュし、充実化した。多くの方からの採用・利用を

目指し、ホームページでは、今後も進化するNSF工法の最新情報を掲載予定。また、認定の取得状況、省エネルギー性等の研究成果および最新の实建設物件を紹介していく。

お問い合わせ先
薄板営業部 住宅建材開発グループ
JUHTAKU@hq.nsc.co.jp



『鉄と鉄鋼がわかる本』第9刷発行

2004年11月に発行した『鉄と鉄鋼がわかる本』(日本実業出版社)が引き続き好評につき、4月に第9刷が発行された。金属分野の書籍としては異例の実績。全国の主要書店で購入できる。(定価:税込1,890円)

ベースとなっている『NIPPON STEEL MONTHLY』の「モノづくりの原点 科学の世界」も好評連載中で、『鉄と鉄鋼がわかる本』続編の発行も予定している。



『新日鉄技報』最新号のお知らせ

最新384号の特集テーマは「製鉄特集」。当社ホームページ(「技術開発」ページ)の新日鉄技報最新号をクリックすることでダウンロードできる。

お問い合わせ先
技術開発企画部
E-mail: gihou@re.nsc.co.jp



紀尾井ホール(財)新日鉄文化財団

6月主催・共催公演情報から

<http://www.kioi-hall.or.jp>

2日 **クァルテットの饗宴2006 アルバン・ベルク四重奏団**
出演: ギュンター・ビヒラー(1st Vn)、ゲルハルト・シュルツ(2nd Vn)、イザベル・カリシウス(Va)、ヴァレンティン・エルベン(Vc)
曲目: モーツァルト「弦楽四重奏曲 第18番 長調 K.464」
「弦楽四重奏曲 第23番 長調 K.590」ほか

14日 **日本音楽のかたち(22)「宮城道雄の世界」~宮城道雄歿後50周年記念~**
出演: 中島靖子、安藤政輝、米川裕枝(箏)、米川文子、富山清琴(三弦)ほか
プレトーク: 徳丸吉彦×安藤政輝
曲目: 「母の唄」、「うわさ」、「落葉」、「夜の大工さん」、「チョコレイト」ほか

20日 **クァルテットの饗宴2006 タカチ弦楽四重奏団**
出演: エドワード・ドゥシンベル(1st Vn)、カーロイ・シュランツ(2nd Vn)、ジェラルディン・ウォルサー(Va)、アンドラーシュ・フェイェール(Vc)
曲目: モーツァルト「弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K.589」
「弦楽四重奏曲 第19番 八長調 K.465 『不協和音』」ほか

お問い合わせ・チケットのお申し込み先: 紀尾井ホールチケットセンター TEL 03-3237-0061 受付 10時~19時 日・祝休